

南十字星

発行者
クイーンズランド
補習授業校
校長
丸山吉信

卒業式案内

〔目標〕
学習指導要領の「儀式的行事」の内容に準じる。

「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動とする。」

〔ゴールドコースト校〕

一・日時

平成二十七年三月十四日(土)

十一時〜十二時二〇分

二・式場

ネアンシアター

三・参加者

卒業生(幼稚園部一四名、小学部二二名、中学部八名)、在校生一三三名、教職員一三名、来賓三名)、卒業生保護者、運営委員、保護者会役員

四・式次第

- (一) 開式のことば、黙祷
- (二) オーストラリア国歌斉唱
- (三) 日本国歌斉唱
- (四) 卒業証書授与

(五) 学校長祝辞

(六) 来賓祝辞(総領事、日本人会会長)

(七) 送辞

(八) 答辞

(九) 卒業の歌「蛍の光」

(十) 閉式のことば

〔「仰げば尊し」が流れる中、卒業生退場。その後、謝恩会として卒業生の出し物、写真撮影〕

かるた・百人一首大会

ゴールドコースト校は一月三十一日に「かるた・百人一首大会」を開きました。また、幼稚園は節分行事を体験しました。

「かるた・百人一首」大会の表彰者は以下の通りでした。

〔ゴールドコースト校〕

- 小一 第一位 コバックス リサ
- 第二位 望月 陸
- 第三位 渡辺亜門

小二

優勝 貝塚こなん

第二位 ニューカム オリビア

第三位 フラナガン美空

小三

第一位 永松希明奈

第二位 プノリク、シーリー・ユーディ

第三位 張 希優、ヒープ・アシャンティ、森川ディオ

森川ディオ

小四

第一位 田底京弥

第二位 岡川侑生

第三位 森はるな、吉岡楽人

小五

第一位 片桐 ひかる

第二位 小島 映実

第三位 菅原 愛理

〔小六〜中三 百人一首の部〕

優勝 中二 森みのり

第二位 中二 田底 芽

第三位 中三 岡川 祥尉

敢闘賞

中二 木村 美礼

中二 張 晟洋

中二 大沢 江里香

小六 大村 健太



全校朝会スピーチ

十二月十三日

GC 中二 田底 芽

皆さんは二週間前の朝礼のバイオリンの演奏を覚えていますか。彼女は私と小学部二年生から一緒にクラスの松本えみりさんです。昔からバイオリンを頑張って練習し、大会に出たりしているのを私は知っていました。そして、朝礼で彼女の演奏を聴いたとき、「あつ、やっぱりバイオリンが大好きなんだな。たくさん練習も努力もしてきたんだろうな。」と思いました。だから、あんなに上手で、大勢の人の前で堂々と演奏できるのだと。

皆さんも、この長いホリデー、「特にやることないな・・・」と思っているなら、自分の好きなことを見つけて頑

張ってみるのはどうでしょうか。それが、音楽でも、スポーツでも、料理でも、絵でも何だっがいい。一つ自分から「楽しい」と思えることを見つけて、それに集中してやっていると、もしかしたら途中で少し嫌になる時があるかもしれません、自分の「大好き」と「楽しい」という気持ちを信じてみてはどうでしょうか。これならだれにも負けない、自分の楽しくて大好きなことが一つの自分の誇れる自信に変わってくれたら、素敵だと私は思います。私は今新しい言語(国の言葉)を習っていてすごく楽しいので、このホリデーで少しでも今よりぺらぺらになれるように頑張ります。なにかひとつ好きなことを見つけて頑張ってみるのも、いいホリデーの過ごし方だとは思いませんか。

来年度の副教材

小学校の教科書改訂を機に副教材を変えることにしました。世界中の在外教育施設でもっとも多く使われているドリルです。

〔小一〕

国語

日本標準「国語形成プリント」バラ式
プリントファイル付

算数

日本標準「算数まるごとスキル」

〔小二〜小六〕

国語

日本標準「くりかえし漢字ドリル」シ

ール付

「漢字マスター」バラ式

算数

日本標準「くりかえし計算ドリル」シ

ール付

「計算マスター」バラ式

お知らせ

(一)入学・継続手続きの締切日が過ぎていきます。まだ手続きがお済みでない方は、大至急手続きをお願いします。

(二)入学式の日程についてお問い合わせいただいた方に四月十八日の予定であるとお伝えしましたが、変更になる可能性があります。追って、配布する年間行事予定表でご確認ください。

(三)ジャパン&フレンズデーに補習校からも有志が参加します。三月二十二日(日)は、皆様是非お誘い合わせの上、アルバート・ウオーターウェイズ・コミュニティセンターにお出かけ

下さい。

季節のことば

菱餅の上の一枚そりかえり

川本 臥風

補習校は、先日、洪水休校、サイクロン休校と、二度に渡る休校措置を経験しました。ゴールドコーストはまだ初秋で、時に、日本の夏の夕立のような土砂降りに見舞われています。

一方、日本では梅が満開で、先日、春一番が吹いたとのこと、かつてないほど寒かった今年の冬が終わりを告げ、人々はさぞほっとしたことでしょう。

日本では、三月三日は女兒の息災を祈って行われるひな祭りの日で、毎年この時期になると、スーパーの店頭には菱餅やひなあられが並び、店内には「灯りをつけましょ、ぼんぼりに」の歌が流れます。この歌を耳にすると、人々は師走とはまた一味違った年の瀬を感じ、新しい年の準備をします。オーストラリアでは新学年が始まってから一か月と少ししか経っていませんが、日本では、三月は学年末で、卒業式のシーズンです。今年も就職や進学が決まり、住み慣れた土地を離れて

いく高校生が大勢いることでしょうか。卒業式は仲良しの学友との別れ、尊敬する師との別れ、愛着のある学び舎との別れの日です。卒業式で歌う「蛍の光」と「仰げば尊し」の歌は、もの悲しく、せつなさを感じさせます。卒業後の長い人生と比べると、学校時代はほんのわずかなのですが、心の中の多くの位置を占め続けます。

今年も補習校の卒業式が教職員、保護者の協力を得て、十四日にオールセイインツのネアンシアターで行われます。そこで、先日、二月二十八日の全校朝会で「仰げば尊し」を児童生徒たちに聞かせてみました。文語体の歌詞の意味がわかったかどうかはわかりませんが、曲のものの悲しさは子供たちに伝わったようでした。

